



本庁舎強化ガラスの交換について

本庁舎の強化ガラスが、昨年から3度にわたり破損（セントラル硝子株式会社製：2枚，AGC株式会社製：1枚）したことについて、原因を調査した結果、いずれの破損もガラスに含まれる異物がガラス内部で膨張したことによる、強化ガラス特有の自然破損であることが判明しました。

しかしながら、本庁舎建設工事受注事業者である五洋建設株式会社及び硝子メーカーのセントラル硝子株式会社から、強化ガラスとしての基準は満たしているものの、受注仕様書に記載されていた自然破損の確率を下げる処理（ヒートソーク処理）のされていないガラスが本庁舎に納品されている可能性がある旨の報告を受けました。

そのため、強化ガラス特有の自然破損が起こる可能性は排除できないものの、対象となる強化ガラスを五洋建設の負担により、次のとおり緊急に交換します。

なお、現在設置している強化ガラスにおいても、JIS規格に適合した強化ガラスとしての機能は満たしたもので、仮に破損しても細かい粒状になり時間を掛けて脱落するため、負傷のおそれが少ないとされています。

【 強化ガラスの交換 】

交換期間：平成30年12月29日から平成31年4月末まで（予定）

作業時間：来庁者に影響が少ないよう、休日夜間等を実施

対象ガラス：エントランス周り，事務室の内側の窓ほか

交換枚数：セントラル硝子製の強化ガラス997枚

【 破損の原因調査及び今後の対応 】

- 異物（硫化ニッケル）による自然破損であると特定（板硝子協会の見解）
- セントラル硝子製はヒートソーク処理未施工による可能性が高い
- AGC製は生産体制や品質管理体制に不審点がない（生産工場実地確認）
- 現在、庁舎の強化ガラス以外の部材（天井や壁，建具等）に異常がみられない



破損は、庁舎の構造上の問題ではなく、ガラス単体の問題の可能性が高いと考えられるものの、市職員による点検，第三者機関による施工監理の調査を実施していきます。